

平成23年度
実施事業

事務事業名 釧山地域住民タクシー経費

区分	No	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる
施策	1	総合的な交通網の整備
小分類	2	交通手段の確保
主要な施策	1	人にやさしい交通手段の確保
事務事業番号	002	事業開始年度 平成 9 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	市民生活部	グループ名	市民サービスグループ
-----	-------	-------	------------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	公共交通機関が運行されていない釧山地域に居住する市民の地域生活における交通手段を確保することを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	登別市ネイチャーセンターからJR幌別駅の区間を対象に、次のとおりタクシーチケットを交付する。 ・対象者 釧山地域の住民で自家用車を所有していない方 ・対象世帯 2世帯 ・交付枚数 1ヶ月2往復分(4枚/月×12ヶ月×2世帯=96枚)
今後の方向性	現在、対象者が不在(入院中)のため、引き続き対象者の状況の把握に努める。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別市釧山地域住民タクシー利用事業実施要綱

事業費(財源内訳)の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	116	0	33	33	33
事業費 合計			116	0	33	33	33

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	使用枚数	枚	目標値	48	12	12	12	12
			実績値	44	0			
	助成金	千円	目標値	130	33	33	33	33
			実績値	116	0			

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》 鉱山地域に住む対象者が、平成22年11月より長期入院のため、対象者が不在となった。	具体的な対策、解決の方向性《事業後》 対象者が不在となったことから、本事業を縮小し、対象者の状況の把握に努めることとする。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について								
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	→	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">市が主体に行うべき事業である</td> <td rowspan="4" style="width: 10%; vertical-align: middle;">判断理由及びその他所見</td> <td rowspan="4" style="width: 40%; vertical-align: top;">生活バスの廃止に伴い、移動手段がなくなった市民の生活を守るための事業であり、市が実施することは妥当である。</td> </tr> <tr> <td>民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である</td> </tr> <tr> <td>国、道、他団体等との連携や広域化が可能である</td> </tr> <tr> <td>国、道、民間等の事業と重複・類似している</td> </tr> </table>	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見	生活バスの廃止に伴い、移動手段がなくなった市民の生活を守るための事業であり、市が実施することは妥当である。	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	国、道、民間等の事業と重複・類似している
市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見	生活バスの廃止に伴い、移動手段がなくなった市民の生活を守るための事業であり、市が実施することは妥当である。						
民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である								
国、道、他団体等との連携や広域化が可能である								
国、道、民間等の事業と重複・類似している								
2. 事務事業の必要性について								
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	→	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">市民、団体等から具体的な要望がある</td> <td rowspan="4" style="width: 10%; vertical-align: middle;">判断理由及びその他所見</td> <td rowspan="4" style="width: 40%; vertical-align: top;">鉱山町に居住する自家用車を保有していない住民の交通手段を確保することは必要である。</td> </tr> <tr> <td>市民アンケートの結果から必要性が高い</td> </tr> <tr> <td>社会情勢、地域事情等から必要性が高い</td> </tr> <tr> <td>市民の大部分が関連することから必要性が高い</td> </tr> </table>	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見	鉱山町に居住する自家用車を保有していない住民の交通手段を確保することは必要である。	市民アンケートの結果から必要性が高い	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	市民の大部分が関連することから必要性が高い
市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見	鉱山町に居住する自家用車を保有していない住民の交通手段を確保することは必要である。						
市民アンケートの結果から必要性が高い								
社会情勢、地域事情等から必要性が高い								
市民の大部分が関連することから必要性が高い								
3. 事務事業の効率性について								
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	→	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">低予算、少労力で高い効果をあげている</td> <td rowspan="4" style="width: 10%; vertical-align: middle;">判断理由及びその他所見</td> <td rowspan="4" style="width: 40%; vertical-align: top;">平成19年度より、1ヶ月2往復(平成18年度までは1ヶ月4往復)に要綱を改正し、低予算で鉱山町に居住する住民の交通手段を確保できている。</td> </tr> <tr> <td>市で実施するほうが民間委託より効率性が高い</td> </tr> <tr> <td>多額の経費や労力を要するがやむを得ない</td> </tr> <tr> <td>将来的に効率性を向上できる</td> </tr> </table>	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見	平成19年度より、1ヶ月2往復(平成18年度までは1ヶ月4往復)に要綱を改正し、低予算で鉱山町に居住する住民の交通手段を確保できている。	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	将来的に効率性を向上できる
低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見	平成19年度より、1ヶ月2往復(平成18年度までは1ヶ月4往復)に要綱を改正し、低予算で鉱山町に居住する住民の交通手段を確保できている。						
市で実施するほうが民間委託より効率性が高い								
多額の経費や労力を要するがやむを得ない								
将来的に効率性を向上できる								
4. 事務事業の成果について								
目的を達成するための成果はあがっていますか？	→	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">成果指標の向上が見られる</td> <td rowspan="4" style="width: 10%; vertical-align: middle;">判断理由及びその他所見</td> <td rowspan="4" style="width: 40%; vertical-align: top;">現在、対象の2世帯の住民が長期入院中であることから、成果の把握は困難である。</td> </tr> <tr> <td>市民、団体等の声から成果を感じられる</td> </tr> <tr> <td>目に見える形で成果があがっている</td> </tr> <tr> <td>成果の把握は困難である</td> </tr> </table>	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見	現在、対象の2世帯の住民が長期入院中であることから、成果の把握は困難である。	市民、団体等の声から成果を感じられる	目に見える形で成果があがっている	成果の把握は困難である
成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見	現在、対象の2世帯の住民が長期入院中であることから、成果の把握は困難である。						
市民、団体等の声から成果を感じられる								
目に見える形で成果があがっている								
成果の把握は困難である								

担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	鉱山地域生活バスの代替措置制度としての事業であったが、現在、対象者(鉱山地域住民で自家用車を所有していない者)が長期不在の状況にあることから、事業を縮小し対象者の状況の把握に努めていくこととする。
-----------	----------------------	--

行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考	
-----------	----	--